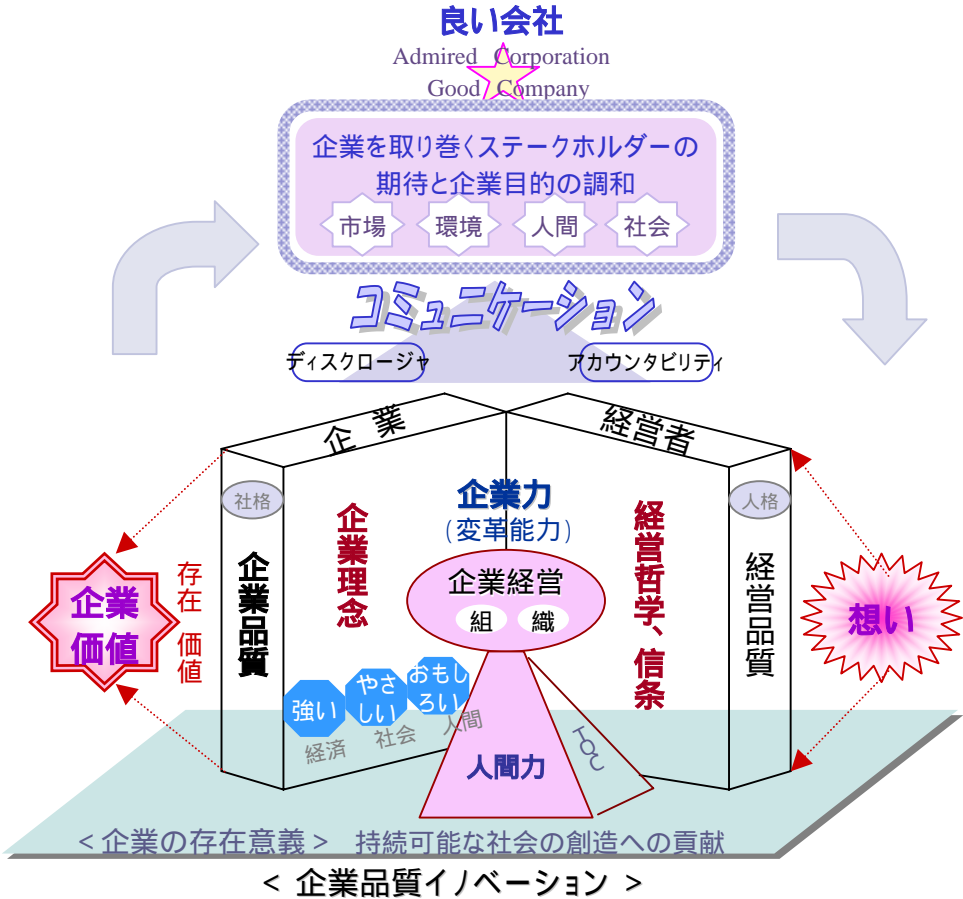


企業の存在価値を高いレベルで実現

企業が収益の極大化に邁進していればよい時代は終わり、新たな経営の質が問われる時代がきた。
 新たな経営の価値観「企業品質」を提唱し、お客様の経営課題の解決および経営の質向上に貢献する。

**企業を取り巻くステークホルダーの期待と
 企業目的の調和をはかり、
 社会の期待や価値観を積極的に企業活動に取り込み、
 企業の存在価値を高いレベルで実現する**



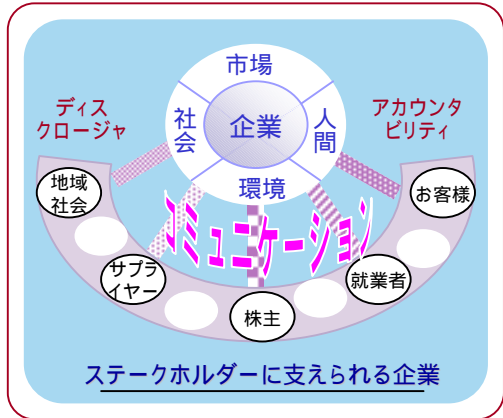
企業品質とは

企業価値を生み出す源泉である。
 ・ステークホルダーの期待に応えるべく企業理念の具現化に向けた企業経営によって、組織内に培われた判断の拠り所、価値観、問題意識であり、文化、個性である

企業価値とは

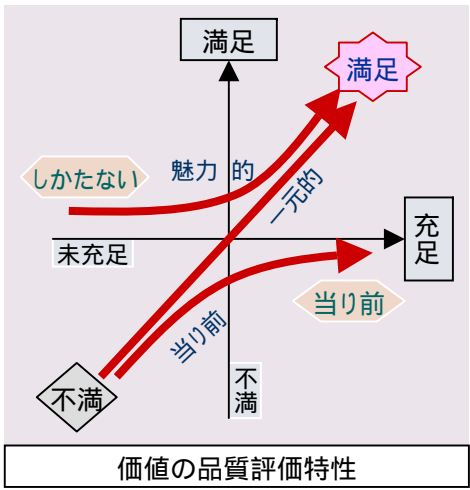
ステークホルダーが意図した目的に対して相対的に評価する知覚品質であり、企業ブランド品質である。
 ・特定の市場/ステークホルダーに特定の価値を提供したことによる“持続可能な社会の創造”への貢献度

企業は社会、ステークホルダーに支えられている



ステークホルダーとの関係が企業存続の基本条件

- ・魅力的な戦略的価値の創出に取り組むとともに、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションに注力する
- ・ステークホルダーとの関係を阻害する要因をリスクと認識し、リスクマネジメントに取り組む



	社会 / 環境的価値	人間的価値	企業価値
魅力的品質	社会の環境負荷を低減する ・持続可能な社会の創造 ・ひとりひとりが自ら選択した年齢まで働ける社会の実現への貢献	社会へ多様な人材を輩出 ・個の成長支援プラットフォーム ・発信/課題提起する高感度企業	社会に意義のある革新的な取組み ・世の中のしくみを変える、事業活動だけでは成し得ない本質的な社会貢献の取組み
一元的品質	新たな環境負荷を発生させない ・雇用の創出(知・情緒産業) ・相互信頼の構築 ・年齢差別(退職定年制度)の撤廃	個のパーソナリティを活かす場 ・個人の成長 = 企業の成長 ・多様な就労形態の開発、提供 ・ワークスタイルの尊重、共存	規範やルールを自ら定め、実行 ・社会・環境への配慮と事業としてお客様に価値提供することの両立
当たり前品質	法令・規制を遵守する ・説明責任を果たす ・政治/行政との適切な関係 ・多様性の尊重	健全で公正な処遇 ・心身の健康が脅かされない ・職場環境の整備 ・多様性の尊重	コンプライアンス ・法律などで決められていることを遵守する

ステイクホルダーに提供する魅力的な戦略的価値の捉え方

魅力的品質特性を有する価値は、時間の経過とともに一元的品質、当たり前品質特性を有する価値へと、お客様認識が変化する。そして、「当たり前品質」価値を前提とした新規ビジネスが発生する。その結果、市場規模は拡大するとともに、コスト競争は激化する。